

テクノロジーで日本の外食産業を進化させるCRISP

総額37億円の資金調達を実施

クリスピーサラダワークスの100店舗体制とクリスピーメソッドの進化へ

国内店舗数No.1サラダ専門店「クリスピーサラダワークス」を展開する株式会社CRISP（本社：東京都港区、代表取締役：宮野 浩史、以下「CRISP」）は総額37億円の資金調達を実施しました。本ラウンドでは第三者割当増資（エクイティ）に加え、10の金融機関からの借入（デット）により、多層的な資金調達を実現しました。

今回の資金調達により、クリスピーサラダワークスの国内100店舗体制に向けた事業拡大をはじめ、独自のDXモデル「クリスピーメソッド」の進化、新業態開発（M&Aを含む）によるマルチブランド戦略の推進、それらを支える組織とテクノロジー基盤の構築に必要な投資を行うことが可能となります。



LOTTE VENTURES JAPAN

ONE
CAPITAL

SO-TWO

MIZUHO みずほ銀行

商工中金

JFC

りそな銀行

北國銀行

静岡銀行

あおぞら銀行

MUFG 三菱UFJ銀行

MUFG MUFGファイナンス&リーシング

Flex Capital

資金調達概要

本ラウンドでの資金調達の内訳は以下の通りです

| 区分 | 主な投資家/金融機関 |
|------------|--|
| エクイティ | ロッテベンチャーズ・ジャパン / One Capital / ソウ・ツー ※全て既存投資家 |
| 借入（既存金融機関） | みずほ銀行、商工組合中央金庫、日本政策金融公庫*2、りそな銀行 |
| 借入（新規金融機関） | 北國銀行、静岡銀行、あおぞら銀行*3、三菱UFJ銀行、MUFGファイナンス & リーシング、RFC Venture Debt Fund 1号（GP：Fivot（Flex Capital運営会社）） |

*1：調達額は、2026年度以降における新規出店を対象とした融資実行額及び借入可能枠（当座貸越等含む）の合計額

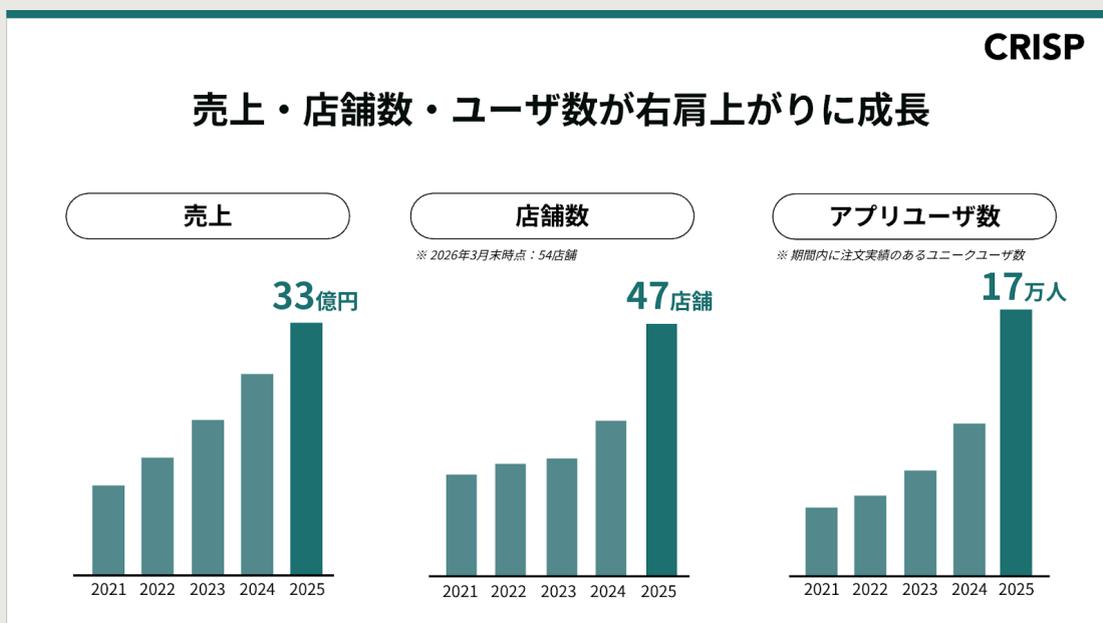
*2：資本金劣後ローン

*3：ポジティブ・インパクト・ファイナンス：国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が策定したポジティブ・インパクト金融原則に基づき、企業活動が環境、社会、経済にどのようなインパクト（影響）を与えるかを包括的に分析・評価し、ポジティブなインパクトの進展・拡大ないしはネガティブなインパクトの緩和・抑制を継続的に支援することを目的としたファイナンス

拡大する国内サラダ市場を背景に、クリस्पサラダワークスを100店舗体制へ

クリस्पサラダワークスは、都市型生活者をターゲットにデジタル活用を軸とした再現性の高い事業モデルを確立し、2026年2月には50店舗を達成、サラダ専門店として国内店舗数No.1となりました。

成長し続ける国内サラダ専門店市場の中で、東京・大阪・神奈川を戦略エリアとして当社の得意とする大規模オフィスビル・都市型商業施設にドミナント戦略により出店し、クリस्पサラダワークスの100店舗体制を早期に実現します。私たちは、この高成長市場のリーディングブランドとして引き続き顧客体験の最大化と事業成長にコミットしていきます。



独自のDXモデル「クリस्पメソッド」の進化

私たちがクリップサラダワークスの運営を通じて開発した独自のDXモデル「クリस्पメソッド」は、外食の店舗運営をDXにより統合的に進化させることで、最高の顧客体験と最高の従業員体験を両立し、収益性の増加とブランドロイヤリティの向上を実現してきました。また、こうした取り組みは、一般社団法人日本データマネジメント・コンソーシアム（JDMC）が主催する「[データマネジメント賞](#)」においても評価され、当社は2026年3月に最高賞であるデータマネジメント大賞を受賞しています。

今後はこのメソッドを軸に、クリップサラダワークスのさらなる進化に加え、新業態開発（M&Aを含む）した複数の外食ブランドを共通のデータ基盤・オペレーション設計・人材マネジメント・出店戦略のもとで統合的に運営し、ブランド横断で顧客価値と収益性を再現性をもって高めていきます。



CRISPは、進化する顧客の期待を超越し続ける新しい外食企業を目指し、これからも多くのチャレンジと検証を、高い透明性と圧倒的なスピードで実行していきます。

代表コメント

株式会社CRISP 代表取締役社長 宮野 浩史



この度の資金調達にあたり、ご支援いただいた投資家および金融機関の皆さまに心より感謝申し上げます。CRISPはこれからも「クリस्पメソッド」を基盤に、クリップサラダワークスの100店舗体制の実現とマルチブランド展開を進めながら、テクノロジーの力で外食をプラットフォーム化し、日本の外食産業の進化と都市型日常食ブランドの新しい可能性づくりに挑戦していきます。

投資家/金融機関からのコメント

株式会社ロッテベンチャーズ・ジャパン 代表取締役社長 國分 丈明氏・取締役会長 澤田 貴司氏



飲食業界が人手不足やコスト高騰といった大きな課題に直面する中、CRISPは「熱狂的なファンをつくる」というブレないミッションのもと、独自のデジタルプラットフォームによる徹底したDXと優れた店舗オペレーションを見事に融合させてきました。店舗数と店舗利益率の飛躍的な向上は、宮野CEO率いるチームが築き上げた「クリस्पメソッド」の強固な収益力を証明するものです。



今回、事業モデルが確固たるものとなったこの重要なフェーズにおいて、追加投資を通じてサポートをより一層強化できることを大変嬉しく思います。今回の資金調達により強靱な財務基盤を作り、クリップサラダワークスの出店加速とテクノロジーを活用した新業態開発を通じて、外食産業の新たなスタンダードを創り出していくことを確信しています。ロッテベンチャーズ・ジャパンは、CRISPのさらなる飛躍に向け、全力で伴走してまいります。

One Capital株式会社 代表取締役CEO 浅田 慎二氏



CRISPが掲げる「熱狂的なファンをつくる」というミッションは、日々の体験を磨き続ける地道な取り組みの積み重ねから生まれているものだと感じています。店舗が増えるほど、その体験が広がり、ファンが増えていく。その流れを、私たちもすぐそばで見してきました。

One Capitalは、このミッションと実行力を強く信じ、今回あらためて追加投資をさせていただきました。CRISPがこれからも熱狂的なファンを生み続けていく挑戦を、長期的なパートナーとして、これからも本気で支え続けていきます。

株式会社みずほ銀行 渋谷法人部 部長 坂内 智宏氏



CRISP様の徹底したデータドリブン経営やDXノウハウ、顧客体験創造力がマーケットで圧倒的な競争力と加速度的な成長を実現されています。

我々はその価値観と“進化する顧客の期待を超越し続ける新しい外食産業”への挑戦を深く理解し、これからも業界変革やIPO等多角的な成長に金融面から力強く支援して参ります。

株式会社商工組合中央金庫 スタートアップ営業部 部長 高橋 幸一氏



この度、CRISPさまのさらなる事業拡大に向けた資金調達のお手伝いをさせていただけることを大変嬉しく思います。CRISPさまが展開する『クリップサラダワークス』は、テクノロジーを活用した顧客体験の創出と、質の高いプロダクトによって、飲食業界に新たなスタンダードを確立してこられました。変化の激しい市場環境においても、CRISPさまはその卓越した実行力でもって着実にファンを増やし続けておられ、今回の資金調達を機に、さらなる飛躍を遂げられると確信しております。商工中金は、今後もCRISPさまの挑戦を全力でサポートしてまいります。

株式会社CRISP corp.crisp.co.jp

CRISPは、「日本の外食を、ひっくり返せ。」をパーパスに掲げ、国内店舗数No.1のカスタムサラダ専門店「クリस्पサラダワークス」の展開と、独自のDX基盤「クリस्पメソッド」を通じて、日本の外食産業をテクノロジーで進化させることを目指す新しい形の外食企業です。

株式会社CRISP

報道関係者様からの問合せ：広報担当 pr@crisp.co.jp